

人を育むまちづくり

子育て支援

- 給食費物価高騰対策【拡充】……………2,088万円
賄材料費の物価高騰分を市で負担し、保護者負担の増加を抑制。(8%に拡充)
- 病児保育(市内施設)【新規】……………1,169万円
令和6年12月から順天堂大学医学部附属静岡病院で事業開始。
- 子育て情報発信【拡充】……………209万円
子育てに特化した情報発信、伊豆市団体と連携し子育て関連マップの作成・イベントを実施。
- こどもの居場所づくりの検討【新規】……………560万円
閉園となる田京・共和幼稚園の利活用を検討。

教育振興

- 小中学校1人1台タブレットの更新【拡充】……………2億3,902万円
- 小学校水泳授業外部委託モデル事業【新規】……………338万円

教育施設整備

- 歴史・文化拠点施設【拡充】……………7億4,548万円
文化財展示施設建設工事・展示製作、施設サポーター研修など。(令和8年4月開館予定)
- 小中学校校舎照明LED化工事【新規】……………2億5,227万円
- 大仁学校給食センター解体工事【新規】……………7,401万円

誰もが暮らしやすいまちづくり

福祉の充実

- 家庭ごみ戸別収集(重層的支援体制推進事業)【新規】……………379万円
要支援者に対するごみ出し支援制度の導入。
- 心身障害者(児)タクシー等利用助成……………855万円
- 高齢者福祉タクシー等利用助成……………5,000万円

健康長寿

- 成人予防接種……………3,473万円
带状疱疹ワクチンは、定期接種対象者以外の希望者への対応を合わせて実施。

- 救急医療への補助金……………6,436万円
順天堂大学医学部附属静岡病院、伊豆保健医療センターへの補助金。
- 補聴器購入の助成……………300万円
加齢による難聴者に対し購入費を助成(上限3万円)。
- シズケアかけはしの導入支援【新規】……………205万円
医療・介護事業所などに対する情報共有システム「シズケアかけはし」導入の助成。
- 救急安心電話相談窓口#7119負担金【新規】……………92万円
受診相談・救急利用の助言を行う電話相談窓口(県事業)負担金。

活力ある持続可能なまちづくり

産業振興

- 宿泊業の経営力基盤強化事業費補助【新規】……………1,148万円
宿泊事業者の業務効率化の取り組み・社員寮整備などを支援。
- 企業立地候補地選定調査【新規】……………315万円
- 採用活動支援事業費補助【新規】……………50万円
市内中小企業の人材確保の取り組みを支援。
- 有機農業促進事業【拡充】……………871万円
- 新規就農者支援……………5,894万円

環境保全

- 新エネルギー機器等の導入支援……………732万円
- 環境教育……………112万円
夏休み親子環境教室、アースキッズチャレンジ、放課後児童クラブでの環境教室の実施

- 製品プラスチック再商品化【新規】……………248万円
- 斎場・廃棄物処理施設解体撤去工事……………3億5,763万円
長岡斎場・葦山ごみ焼却場・長岡し尿処理場・大仁し尿処理場の解体撤去工事。

市民協働

- 市制施行20周年記念子ども議会【新規】……………5万円
- 都市交流事業……………730万円

移住定住促進

- 移住定住者への助成……………2,160万円
- 地域おこし協力隊【拡充】……………1,529万円

令和7年度 当初予算の概要

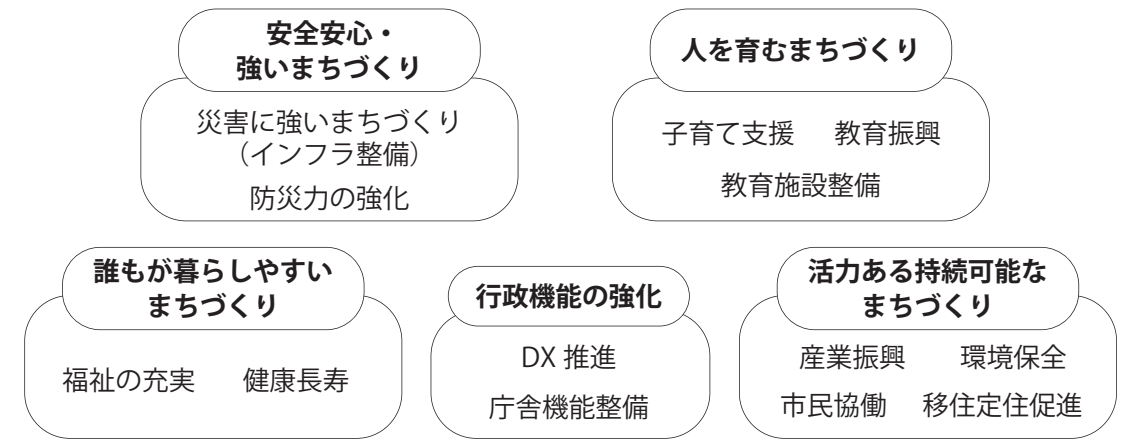
☎ 財務課
☎ 055-948-1414

市制施行20周年 ～未来へのステップアップ予算

令和7年度当初予算は、市制施行20周年の節目に当たり、本市が豊かな未来へステップアップしていくための、次世代を見据えたまちづくりの予算です。
第1に「安全安心・強いまちづくり」、第2に「人を育むまちづくり」、第3に「誰もが暮らしやすいまちづくり」、第4に「活力ある持続可能なまちづくり」、これら4つのまちづくりの枠組みに、「行政機能の強化」を加えた5つの枠組みにより、施策を展開していきます。



※令和7年度当初予算書は、市HPと財務課窓口(伊豆長岡庁舎)で閲覧できます。



安全安心・強いまちづくり

災害に強いまちづくり(インフラ整備)

- 道路改良・道路維持補修【拡充】……………2億1,083万円
- 河川改修・河川維持管理・河川浚渫【拡充】……………1億2,253万円
- 急傾斜地対策【拡充】……………1億3,600万円
- 深沢橋架替事業……………2億784万円
- 源氏山公園ポケットパーク整備【新規】……………823万円

防災力の強化

- 避難所(小中学校体育館)移動式エアコン導入【新規】……………3,723万円
小中学校の体育館に2台ずつ導入。

- 非常電源用発電機の導入【新規】……………2,214万円
小中学校体育館・庁舎別館の非常電源用および移動式エアコン用の発電機を導入。
- 自主防災組織資機材整備事業補助【拡充】……………1,203万円
- 被災者生活再建システム導入【新規】……………670万円
被災者台帳システム(家屋被害調査・被害認定・罹災証明・支援金・税の減免などの一元管理)を導入。
- 田んぼダム整備事業【新規】……………650万円
農地整備による流域治水対策のモデル事業を実施。

行政機能の強化

DX推進・庁舎機能整備

- 市民課窓口のDX推進【新規】……………329万円
キャッシュレス決済端末、窓口予約管理システム、4情報転記スキャナー、デジタルサイネージの導入。

- 庁舎大規模改修……………9億1,460万円
- 電話交換機更新工事【新規】……………1億1,938万円

■特別会計ほか予算額■

■特別会計■ 108億5,600万円

国民健康保険	52億3,200万円
後期高齢者医療	8億9,400万円
介護保険	47億3,000万円

■水道事業会計■ 12億1,600万円

■簡易水道事業会計■ 2億8,700万円

■下水道事業会計■ 27億5,600万円

■基金の状況■

基金名	令和7年度末 残高見込額
財政調整基金	25億9,638万円
減債基金	6億6,762万円
ふるさと応援基金	3億368万円
庁舎建設基金	3億8,545万円
地域振興基金	21億8,520万円
公共施設等総合管理基金	14億5,836万円
その他	5億926万円
一般会計	88億3,027万円
国民健康保険事業基金	2億4,360万円
介護給付費準備基金	4億8,072万円
特別会計	20億5,267万円
合計	108億5,600万円

■市債の状況■

会計名	令和7年度末 残高見込額
一般会計	278億2,676万円
水道事業債	20億203万円
簡易水道事業債	1億5,600万円
下水道事業債	40億1,914万円
企業会計	42億1,717万円
合計	340億393万円

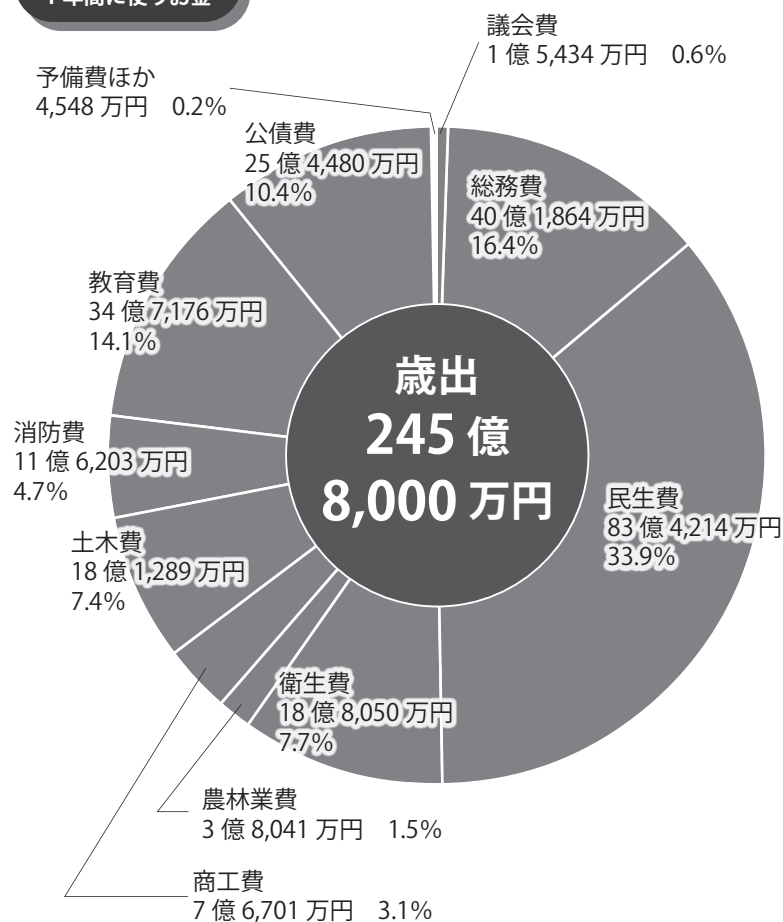
※一般会計残高見込額の3分の2程度は、今後、普通交付税に算入される見込みです。

■一般会計■

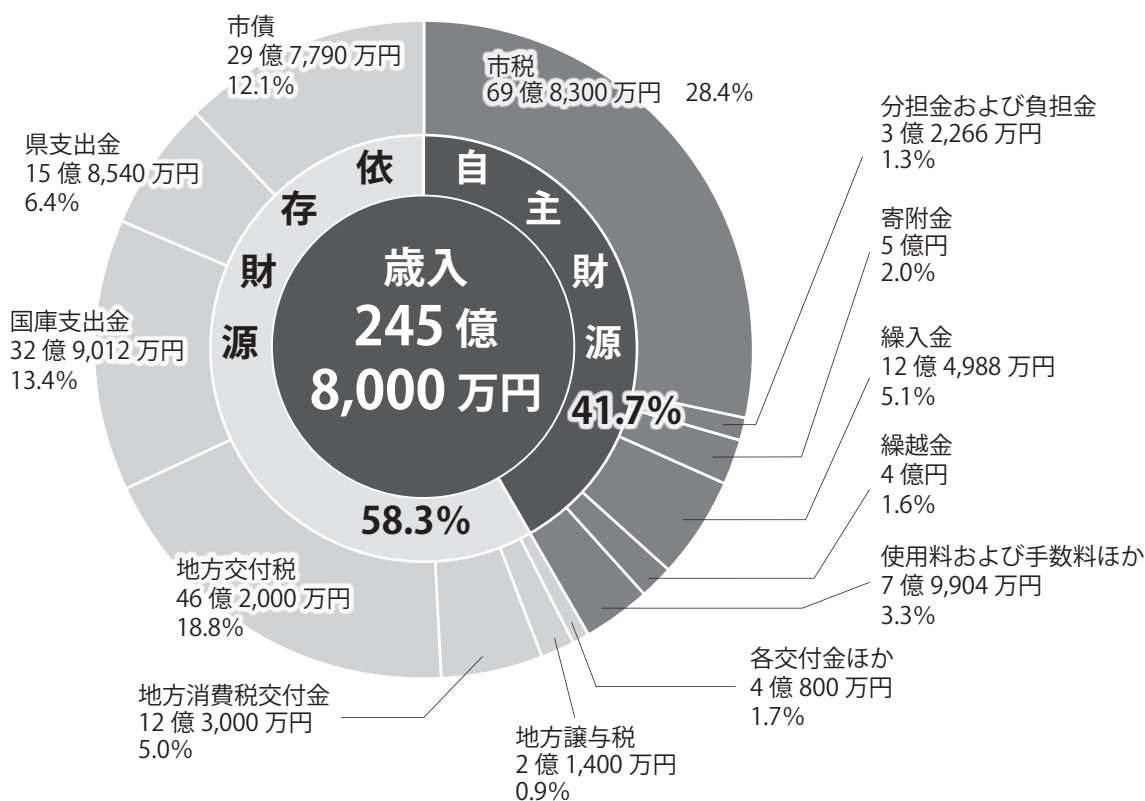
*一般会計とは、地方公共団体の中心となる会計で、行政運営の基本的な経費を表します。

245億8,000万円

歳出 1年間に使うお金



歳入 1年間に入るお金



令和7年度の一般会計予算は、245億8,000万円で、前年度に比べ19億4,000万円の増となりました。

本年度は、災害に耐えうる強いまちづくりのための施策をはじめ、子育て支援・教育振興・福祉・産業振興・DX推進などに重点を置いています。

市民1人当たりの予算 53万3,293円の使い道

※令和6年10月1日現在の住民基本台帳人口(46,091人)で算出

